

公益社団法人 東京都臨床検査技師会

令和 3 年度 事業報告書

(事業年度 令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日)

I. 総論

令和 3 年度事業執行の概要を報告する。

当会の事業は、「臨床検査技術の研究開発を図るとともに、臨床検査技師、衛生検査技師の倫理の高揚並びに資質の向上を図り、もって臨床検査の普及啓発を行い、人々の健康増進、医療・公衆衛生の向上に寄与することを目的とする」と定款に定められていることから、定款や各諸規程に基づいて執行されなくてはならない。

令和 3 年度の都臨技事業に於いては、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)感染拡大による影響により、公共団体主催の事業が中止もしくは Web 開催となったことから、主に地域保健共催事業において例年通りの事業展開が行えず、執行率が低い事業が認められる。一方、倫理の高揚と資質の向上の事業については、各種研修会および医学検査学会においても、Web を活用することによりほぼ事業計画通りに開催することが出来た。参加いただいた会員数も 8,500 名を超過しており、2019 年度参加者と比較しても 2,000 名以上多くの方に参加いただけたこととなる。今後は、臨床検査技師における技術面のサポートとなる実技研修会を開催できるように方法を模索していきたい。また、令和 3 年度は「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律」が施行され、臨床検査技師には新たに 10 の行為が認められた。更に臨床検査技師学校養成所指定規則の一部改正及び「臨床検査技師養成所ガイドラインについて」の通知に伴い令和 4 年の入学生から養成所カリキュラムが大きく改正されることとなった。これら 2 つの改正により厚生労働省指定講習会・臨地実習指導者講習会についても、新型コロナウイルス感染状況を注視しつつできる限り早期の開催をしていきたい。一方、会員の皆さまへの情報発信ツールとして都臨技 HP のリニューアルにより「会員ページ」を作成し、そのページに研修会動画を掲載した。また LINE 株式会社の「LINE」を活用した最新情報提供など会員の皆さまがより早く多くの情報を得られるように事業展開をした。

個別事業の執行報告は以下の各論に記載されている事業となる。

II. 個別事業の報告

1. 公共目的事業

(1) 臨床検査技師としての倫理の高揚と資質の向上の事業

臨床検査は患者より得られた検査材料をもって、正確な検査結果を迅速に提供しなければならない。そのため臨床検査技師は検査精度を保証した正しい値を提供するための知識と技術を習得しなければならない。その取り組みとして、新型コロナウイルス感染拡大の条件下でも各研究班は会員に対して最新の医学的知識や技術を提供し、専門領域の情報交換の場となる研修会を開催して検査技師の資質の向上を図った。

1) 学術部研修会

学術部 11 研究班の令和 3 年度の活動は「血液検査研究班 6 回」「公衆衛生検査研究班 3 回」「微生物検査研究班 7 回」「病理細胞診検査研究班 5 回」「免疫血清検査研究班 5 回」「輸血検査研究班 4 回」「生理検査研究班 12 回」「一般検査研究班 7 回」「臨床化学検査研究班 6 回」「情報システム研究班 0 回」「遺伝子・染色体研究班 0 回」計 55(昨年度 18)回の研修会を実施した。昨年度から引き続き新型コロナウイルス感染の感染拡大防止の観点から、会場での対面式の研修会が困難なため、実技講習会は開催できなかった。しかし各研究班で Web 開催を計画し、研修会参加者延べ人数は 7,247(昨年度 1,128)名に及んだ。研究班幹事や講師も職場での規制があり、打ち合わせや準備も制限がある中、新たな研修会の姿を構築できた。会場へ足を運ぶ時間の省力化や子育て世代も手軽に自宅から参加できることから、1 回の研修会での参加人数の増加が見込まれ、Zoom 参加人数の上限を 100 名から 500 名までに引き上げ、多くの会員が参加できるようにし

た.

ア)血液検査研究班 参加者 合計 683(昨年度 225)名

- ①開催時期:令和3年4月16日(金)
開催場所:Zoom形式によるWeb研修会
実施内容:「Q&Aで学ぶ、血液検査のピットフォール ～part I～」
講師名(所属):甲田 祐樹 技師(東京医科歯科大学医学部附属病院)
参加人数:会員 76、非会員 0、その他 0、計 76名
- ②開催時期:令和3年9月16日(木)
開催場所:Zoom形式によるWeb研修会
実施内容:骨髄病理の基礎
講師名(所属):青木 裕志 技師(順天堂大学医学部附属練馬病院)
参加人数:会員 149、非会員 0、その他 0、計 149名
- ③開催時期:令和3年10月1日(金)
開催場所:Zoom形式によるWeb研修会
実施内容:ISO15189 認定取得から考える血液検査室
講師名(所属):大山 貴司 技師(東京都済生会中央病院)
参加人数:会員 77、非会員 0、その他 0、計 77名
- ④開催時期:令和3年10月22日(金)
開催場所:Zoom形式によるWeb研修会
実施内容:「骨髄像鏡検」基本から症例の見方
講師名(所属):田村 孝子 技師(東京女子医科大学病院)
参加人数:会員 145、非会員 0、その他 0、計 145名
- ⑤開催時期:令和3年11月11日(木)
開催場所:Zoom形式によるWeb研修会
実施内容:「悪性リンパ腫」
講師名(所属):伊豆津 宏二 先生(国立がん研究センター中央病院)
参加人数:会員 158、非会員 0、その他 0、計 158名
- ⑥開催時期:令和4年2月20日(日)
開催場所:Zoom形式によるWeb研修会 実技講習会
実施内容:実技講習会 Web「初～中級者限定 末梢血での疾患鑑別」
講師名(所属):血液検査研究班 幹事
参加人数:会員 78、非会員 0、その他 0、計 78名

イ)公衆衛生検査研究班 参加者 合計 424(昨年度 46)名

- ①開催時期:令和3年6月30日(水)
開催場所:Zoom形式によるWeb研修会
実施内容:COVID-19 重症化メカニズムと関連マーカーについて
講師名(所属):川手 康徳 先生(シスメックス株式会社 学術本部 学術研究部)
参加人数:会員 227、非会員 0、その他 0、計 227名
- ②開催時期:令和3年9月3日(金)
開催場所:Zoom形式によるWeb研修会
実施内容:医療データ解析:3郡以上の比較とROC 曲
講師名(所属):落合 裕隆 先生(昭和大学 医学部衛生学公衆衛生学講座)
参加人数:会員 94、非会員 0、その他 0、計 94名
- ③開催時期:令和3年11月30日(火)
開催場所:Zoom形式によるWeb研修会
実施内容:新型コロナワクチンの基礎と最新のエビデンス」
講師名(所属):岡田 玲緒奈 先生(千葉大学医学部附属病院 次世代医療構想センター)
参加人数:会員 103、非会員 0、その他 0、計 103名

ウ)微生物検査研究班 参加者 合計 1069(昨年度 0)名

- ①開催時期:令和3年5月21日(金)
 開催場所:Zoom形式によるWeb研修会
 実施内容:やさしく学ぼう!菌の基礎知識 ①ブドウ球菌・腸球菌
 ②肺炎球菌・他連鎖球菌
 講師名(所属):①米谷 正太 技師(杏林大学医学部附属病院)
 ②谷道 由美子 技師(日本大学医学部附属板橋病院術研究部)
 参加人数:会員168 非会員0、その他0、計168名
- ②開催時期:令和3年6月18日(金)
 開催場所:Zoom形式によるWeb研修会
 実施内容:やさしく学ぼう!菌の基礎知識 ①腸内細菌科GNR
 ②ヘモフィルス・ナイセリア・レジオネラ
 講師名(所属):①石垣 しのぶ 技師(帝京大学医学部附属病院)
 ②守屋 任 技師(国立国際医療研究センター病院)
 参加人数:会員176 非会員0、その他0、計176名
- ③開催時期:令和3年7月16日(金)
 開催場所:Zoom形式によるWeb研修会
 実施内容:やさしく学ぼう!菌の基礎知識 ①ブドウ糖非発酵GNR
 ②嫌気性菌
 講師名(所属):①長南 正佳 技師(順天堂大学医学部附属順天堂医院)
 ②園部 一成 技師(東京医科歯科大学医学部附属病院)
 参加人数:会員180 非会員0、その他0、計180名
- ④開催時期:令和3年9月17日(金)
 開催場所:Zoom形式によるWeb研修会
 実施内容:やさしく学ぼう!菌の基礎知識 ①抗酸菌
 ②真菌
 講師名(所属):①下口 和雄 技師(日本大学病院)
 ②三澤 慶樹 技師(東京大学医学部附属病院)
 参加人数:会員166 非会員0、その他0、計166名
- ⑤開催時期:令和3年10月15日(金)
 開催場所:Zoom形式によるWeb研修会
 実施内容:やさしく学ぼう!菌の基礎知識 病原体核酸検査
 講師名(所属):山田 景土 技師(東邦大学医療センター大森病院)
 参加人数:会員145 非会員0、その他0、計145名
- ⑥開催時期:令和3年11月19日(金)
 開催場所:Zoom形式によるWeb研修会
 実施内容:「進化する微生物 対抗する医療」
 講師名(所属):櫻井 隆之 先生(NTT東日本関東病院 感染症内科部長)
 参加人数:会員116 非会員0、その他0、計116名
- ⑦開催時期:令和4年2月18日(金)
 開催場所:Zoom形式によるWeb研修会
 実施内容:①吸血性節足動物を対象としたウイルス検出の方法と実際
 ②「抗菌薬選択のイロハ～微生物検査の重要性～」
 講師名(所属):①伊澤 晴彦 先生(国立感染症研究所昆虫医科学部第二室)
 ②原 弘士 先生(横浜市立脳卒中・神経脊髄センター薬剤部)
 参加人数:会員118 非会員0、その他0、計118名
- エ)病理細胞診検査研究班 参加者 合計421(昨年度97)名
- ①開催時期:令和3年5月17日(月)
 開催場所:Zoom形式によるWeb研修会
 実施内容:希少がん 子宮体部癌肉腫の臨床病理所見と腫瘍形成過程の分子機構の解明
 講師名(所属):杉山 裕子 先生(公益財団法人がん研究会有明病院 細胞診断部)
 参加人数:会員83、非会員0、その他0、計83名

- ②開催時期:令和3年7月12日(月)
 開催場所:Zoom形式によるWeb研修会
 実施内容:希少がん 小児腫瘍の細胞
 講師名(所属):有田 茂実 先生(千葉県がんセンター 臨床病理部)
 参加人数:会員63、非会員1、その他0、計64名
- ③開催時期:令和3年9月14日(火)
 開催場所:Zoom形式によるWeb研修会
 実施内容:希少がん NET、GISTの概念、組織像、細胞像
 講師名(所属):高澤 豊 先生(国家公務員共済組合 虎の門病院 病理診断科・病理部)
 参加人数:会員109、非会員0、その他0、計109名
- ④開催時期:令和3年10月9日(土)
 開催場所:Zoom形式によるWeb研修会
 実施内容:特別講習会「細胞診スライドカンファレンス」
 講師名(所属):研究班幹事
 参加人数:会員64、非会員0、その他0、計64名
- ⑤開催時期:令和4年2月26日(土)
 開催場所:Zoom形式によるWeb研修会
 実施内容:認定病理技師指定講習会
 1) 口腔粘膜疾患のかたち—組織と細胞—
 2) 当院におけるデジタルパソロジーの取り組み
 3) 組織の固定, 全ての解析のスタート地点 ~病理がどこまでコントロールできるか~
 4) 当院での気管支鏡検査におけるバイオマーカー検査の現状と細胞検体の利用
 講師名(所属):
 1) 宇都宮 忠彦 先生(日本大学松戸歯学部病理学講座)
 2) 草野 広行 技師(国際医療福祉大学成田病院検査部病理)
 3) 宮崎 龍彦 先生(岐阜大学医学部附属病院 病理診断科)
 4) 功刀 しのぶ 先生(日本医科大学 解析人体病理学)
 参加人数:会員97、非会員4、その他0、計101名

オ)免疫血清検査研究班 参加者 合計 427 (昨年度 140)名

- ①開催時期:令和3年5月26日(水)
 開催場所:Zoom形式によるWeb研修会
 実施内容:遺伝子染色体検査研究班との合同研修会「新型コロナウイルスの検出について」
 講師名(所属):坂元 琴子 先生(栄研化学株式会社)
 参加人数:会員95、非会員0、その他0、計95名
- ②開催時期:令和3年7月21日(水)
 開催場所:Zoom形式によるWeb研修会
 実施内容:「ビタミンDとは? 1,25(OH)Dとの違い」
 講師名(所属):荻原 貴裕 先生(シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社)
 参加人数:会員84、非会員0、その他0、計84名
- ③開催時期:令和3年11月18日(木)
 開催場所:Zoom形式によるWeb研修会
 実施内容:『C型肝炎撲滅に向けた臨床検査部の役割』
 講師名(所属):狩野 有作 先生(北里大学医学部臨床検査診断学)
 参加人数:会員69、非会員0、その他0、計69名
- ④開催時期:令和4年1月13日(木)
 開催場所:Zoom形式によるWeb研修会
 実施内容:関節リウマチと血液検査の基礎知識
 講師名(所属):須長 宏行 先生(積水メディカル株式会社)
 参加人数:会員90、非会員0、その他0、計90名
- ⑤開催時期:令和4年2月10日(木)
 開催場所:Zoom形式によるWeb研修会

実施内容:血液がんと可溶性 IL-2 レセプターについて
講師名(所属):福田 雅之助 先生(H.U.フロンティア株式会社)
参加人数:会員 89、非会員 0、その他 0、計 89 名

カ)輸血検査研究班 参加者 合計 590 (昨年度 168)名

- ①開催時期:令和3年5月19日(水)
開催場所:Zoom形式によるWeb研修会
実施内容:赤血球型検査ガイドライン改定の内容について(改訂2版→改訂3版へ)
講師名(所属):奥田 誠 技師(東邦大学医療センター大森病院)
参加人数:会員 133、非会員 0、その他 0、計 133 名
- ②開催時期:令和3年6月16日(水)
開催場所:Zoom形式によるWeb研修会
実施内容:新しい血液製剤発注システムの概要と導入方法、医療機関における運用の実際と導入のメリットについて
講師名(所属):杉山 朋邦 先生(日本赤十字社 血液事業本部)
名倉 豊 技師(東京大学医学部附属病院)
参加人数:会員 121、非会員 0、その他 4、計 125 名
- ③開催時期:令和3年9月15日(水)
開催場所:Zoom形式によるWeb研修会
実施内容:輸血検査のトラブルシューティング
講師名(所属):八木橋 健太 技師(武蔵野赤十字病院)
参加人数:会員 205、非会員 0、その他 0、計 205 名
- ④開催時期:令和3年5月19日(水)
開催場所:Zoom形式によるWeb研修会
実施内容:「関東甲信越ブロック血液センターにおける依頼検査の現状と検査の進め方」
講師名(所属):永沼 真一 技師(関東甲信越ブロック血液センター)
参加人数:会員 126、非会員 0、その他 1、計 127 名

キ)生理検査研究班 参加者 合計 1,283 (昨年度 0)名

- ①開催時期:令和3年8月20日(金)
開催場所:Zoom形式によるWeb研修会
実施内容:神経伝導検査、実践で困らないために-検査方法と症例提示-
講師名(所属):木崎 直人 技師(杏林大学医学部付属病院)
参加人数:会員 78、非会員 0、その他 0、計 78 名
- ②開催時期:令和3年8月20日(金)
開催場所:Zoom形式によるWeb研修会
実施内容:胆道の基礎とスキャニング
講師名(所属):伊藤 正範 技師(新宿健診プラザ)
参加人数:会員 93、非会員 0、その他 0、計 93 名
- ③開催時期:令和3年3月30日(木)
開催場所:Zoom形式によるWeb研修会
実施内容:臨床心電図
講師名(所属):栗田 康生 先生(国際医療福祉大学大学院)
参加人数:会員 181、非会員 0、その他 0、計 181 名
- ④開催時期:令和3年8月20日(金)
開催場所:Zoom形式によるWeb研修会
実施内容:どこまで活用してる?新しい心エコーのガイドライン~当院ではこう使ってます~
講師名(所属):仲倉 佳子 技師(東京都保健医療公社 豊島病院)
参加人数:会員 78、非会員 0、その他 0、計 78 名
- ⑤開催時期:令和3年10月21日(木)
開催場所:Zoom形式によるWeb研修会
実施内容:呼吸機能検査データと呼吸器疾患

- 講師名(所属):高井 大哉 先生(国家公務員共済組合連合会 虎の門病院)
参加人数:会員 154、非会員 0、その他 0、計 154 名
- ⑥開催時期:令和3年11月12日(金)
開催場所:Zoom形式によるWeb研修会
実施内容:DVT症例から考える、下肢静脈エコー検査
講師名(所属):秋山 忍 技師(東京医科大学病院)
参加人数:会員 82、非会員 0、その他 0、計 82 名
- ⑦開催時期:令和3年11月17日(水)
開催場所:Zoom形式によるWeb研修会
実施内容:運動負荷試験のせかい ～総論編～
講師名(所属):長山 医 技師((公財)心臓血管研究所付属病院)
参加人数:会員 116、非会員 0、その他 0、計 116 名
- ⑧開催時期:令和3年12月9日(木)
開催場所:Zoom形式によるWeb研修会
実施内容:診断、治療につながる乳房超音波検査
講師名(所属):壬生 明美 技師(川口市立医療センター)
参加人数:会員 88、非会員 1、その他 0、計 89 名
- ⑨開催時期:令和3年12月23日(木)
開催場所:Zoom形式によるWeb研修会
実施内容:刺激の殿堂 脳波のみかた
講師名(所属):杉山 邦男 技師(東邦大学医療センター大森病院)
参加人数:会員 108、非会員 0、その他 0、計 108 名
- ⑩開催時期:令和4年1月20日(木)
開催場所:Zoom形式によるWeb研修会
実施内容:ペースメーカー心電図を読み解く
講師名(所属):高野 徹 先生(日本メトロニック株式会社 CRM事業部)
参加人数:会員 135、非会員 0、その他 0、計 135 名
- ⑪開催時期:令和4年2月10日(木)
開催場所:Zoom形式によるWeb研修会
実施内容:刺激の殿堂 神経伝導検査
講師名(所属):坂下 文康 技師(三重県立総合医療センター)
参加人数:会員 78、非会員 1、その他 0、計 79 名
- ⑫開催時期:令和4年3月3日(木)
開催場所:Zoom形式によるWeb研修会
実施内容:症例を見てみよう、泌尿器エコー
講師名(所属):堀内 正志 技師(東京都立 松沢病院)
参加人数:会員 90、非会員 0、その他 0、計 90 名

ク)一般検査研究班 参加者 合計 1,324 (昨年度 256)名

- ①開催時期:令和3年6月23日(水)
開催場所:Zoom形式によるWeb研修会
実施内容:『日当直時に必要な知識と技術 ー髄液検査ー』
講師名(所属):森田 賢史 技師(東京大学医学部附属病院)
参加人数:会員 282、非会員 0、その他 0、計 282 名
- ②開催時期:令和3年7月10日(土)
開催場所:Zoom形式によるWeb研修会
実施内容:『アドバイスサービスのすすめ。尿検査的病態推定の実際』
講師名(所属):金沢 聖美 技師(東北大学病院)
参加人数:会員 139、非会員 0、その他 0、計 139 名
- ③開催時期:令和3年9月29日(水)
開催場所:Zoom形式によるWeb研修会
実施内容:「尿沈渣に必要な腎泌尿器の構造と病理」

講師名(所属): 芦刈 知幾 技師(順天堂大学医学部附属 東京江東高齢者医療センター)
参加人数: 会員 229、非会員 0、その他 0、計 229 名

④開催時期: 令和 3 年 3 月 10 日(水)

開催場所: Zoom 形式による Web 研修会(第 3 回再配信)

実施内容: 「日臨技フォトサーベイの解説」～赤血球形態と正解率の低い成分の解析～

講師名(所属): 友田 美穂子 技師((公財)がん研究会 有明病院)

参加人数: 会員 171、非会員 0、その他 0、計 171 名

⑤開催時期: 令和 3 年 11 月 21 日(日)

開催場所: Zoom 形式による Web 研修会

実施内容: 2021 年度都臨技一般検査スキルアップ Zoom 研修会

①今からわかる体腔液検査～血液検査担当の立場から～

②腎疾患を理解する!～始めの一步、ポドサイト～

③形態観察!尿沈渣から想像できること

④前立腺癌診療の現況

⑤参加型尿沈渣フォトクイズ(赤血球形態)

講師名(所属):

①常名 政弘 技師(東京大学医学部附属病院)

②横山 千恵 技師(筑波大学附属病院)

③山下 美香 技師(広島赤十字・原爆病院)

④飯塚 淳平 医師(東京女子医科大学病院 泌尿器科)

⑤研究班幹事

参加人数: 会員 144、非会員 0、その他 0、計 144 名

⑥開催時期: 令和 4 年 1 月 21 日(金)

開催場所: Zoom 形式による Web 研修会

実施内容: 尿検査所見からわかる病態 ～臨床医はこの検査値を求めています～

講師名(所属): 脇田 満 技師(順天堂大学医学部附属順天堂医院)

参加人数: 会員 189、非会員 0、その他 0、計 189 名

⑦開催時期: 令和 4 年 2 月 22 日(火)

開催場所: Zoom 形式による Web 研修会

実施内容: 「がん研式尿沈渣の見方 赤血球」

講師名(所属): 友田 美穂子 技師(がん研有明病院臨床検査センター)

参加人数: 会員 170、非会員 0、その他 0、計 170 名

ケ)臨床化学検査研究班 参加者 合計 1,026 (昨年度 153)名

①開催時期: 令和 3 年 5 月 18 日(火)

開催場所: Zoom 形式による Web 研修会

実施内容: 検査データの見方～肝臓病検査の現状と展望～

講師名(所属): 政木 隆博 先生(東京慈恵会医科大学 臨床検査医学講座)

参加人数: 会員 210、非会員 0、その他 2、計 212 名

②開催時期: 令和 3 年 6 月 15 日(火)

開催場所: Zoom 形式による Web 研修会

実施内容: 自動分析装置を使用する臨床化学の比色分析の基礎

～比色について理解して結果を報告しよう～

講師名(所属): 巖崎 達矢 技師((公社)東松山医師会 東松山医師会病院)

参加人数: 会員 172、非会員、その他 1、計 173 名

③開催時期: 令和 3 年 7 月 6 日(火)

開催場所: Zoom 形式による Web 研修会

実施内容: 尿生化学、腎疾患の検査値について

講師名(所属): 松本 啓 先生(東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科)

参加人数: 会員 211、非会員 0、その他 2、計 213 名

④開催時期: 令和 3 年 10 月 19 日(火)

開催場所: Zoom 形式による Web 研修会

実施内容:(血清免疫検査研究班との合同研修会)

がん専門病院における非特異反応の発生状況について

講師名(所属):関田 綱基 技師((公財)がん研究会有明病院 臨床検査センター)

参加人数:会員 170、非会員 0、その他 0、計 170 名

⑤開催時期:令和3年11月16日(火)

開催場所:Zoom形式によるWeb研修会

実施内容:R-CPC(急性呼吸不全を来した60代女性)

講師名(所属):越智 小枝 先生(東京慈恵会医科大学 臨床検査医学講座)

参加人数:会員 114、非会員 0、その他 0、計 114 名

⑥開催時期:令和4年1月25日(火)

開催場所:Zoom形式によるWeb研修会

実施内容:R-CPC(急性呼吸不全を来した60代女性)

講師名(所属):宮本 博康 技師(東京慈恵会医科大学附属病院)

参加人数:会員 144、非会員 0、その他 0、計 144 名

ク)情報システム研究班 参加者 合計 0名(昨年度43)名

開催なし

サ)遺伝子・染色体研究班 参加者 合計 一般検査に計上

①開催時期:令和3年5月26日(水)

開催場所:Zoom形式によるWeb研修会

実施内容:一般検査研究班との合同研修会「新型コロナウイルスの検出について」

講師名(所属):坂元 琴子 先生(栄研化学株式会社)

参加人数:会員 95、非会員 0、その他 0、計 95 名

2)初級研修会

初級研修会は、新規採用職員や基礎的な内容の学習を目的とした会員等を対象としたものであり、内容は基礎的事項を中心とし、短期間でコンパクトにすることにより、受講者が必要とする情報を早めに習得できるように工夫して、6月から9月までの期間においてZoom形式によるWeb研修会として実施した。また、例年好評のテキスト集を事前資料として発行したほか、会員に対して講習会の内容を一定期間ホームページから閲覧できるようにした。

ア)病理細胞診検査研究班

①開催時期:2021年6月17日(木)

開催場所:Zoom形式によるWeb研修会(研究班主催)

実施内容:病理・細胞診における染色法について～病理編～

講師名(所属):戸田 敏久 技師(東京慈恵会医科大学)

磯崎 岳夫 技師(東京品川病院)

参加人数:会員 75、非会員 0、学生 0、計 75 名

②開催時期:2021年6月24日(木)

開催場所:Zoom形式によるWeb研修会(研究班主催)

実施内容:病理・細胞診における染色法について～細胞診編～

講師名(所属):池畑 浩一 技師(がん研究会有明病院)

佐野 弘子 技師(国際医療福祉大学三田病院)

参加人数:会員 54、非会員 0、学生 0、計 54 名

イ)微生物検査研究班

①開催時期:2021年7月20日(火)

開催場所:Zoom形式によるWeb研修会(研究班主催)

実施内容:(1)初級者のためのグラム染色～スキルアップのポイント～

(2)感染防止対策加算に必要な薬剤耐性菌の基礎知識

講師名(所属):(1)安藤 隆 技師(東京慈恵会医科大学附属第三病院)

(2)黒川 正美 技師(国立国際医療研究センター病院)

参加人数:会員 251、非会員 0、学生 0、計 251 名

ウ)臨床化学検査研究班

①開催時期:2021年7月27日(火)

開催場所:Zoom形式によるWeb研修会(研究班主催)

実施内容:試薬検討方法とその注意点～初級から応用まで～

講師名(所属):宮川典子 技師(東京都済生会中央病院)

参加人数:会員140、非会員0、学生0、計140名

エ)一般検査研究班

①開催時期:2021年8月10日(火)

開催場所:Zoom形式によるWeb研修会(研究班主催)

実施内容:初心者のための尿沈査入門

講師名(所属):森田賢史 技師(東京大学医学部附属病院)

参加人数:会員163、非会員0、学生0、計163名

オ)生理検査研究班

①開催時期:2021年8月27日(金)

開催場所:Zoom形式によるWeb研修会(支部主催)

実施内容:呼吸機能検査の基礎

講師名(所属):森田恵子 技師(杏林大学医学部附属病院)

参加人数:会員158、非会員0、学生0、計158名

②開催時期:2021年9月9日(木)

開催場所:Zoom形式によるWeb研修会(研究班主催)

実施内容:心電図検査の基礎

講師名(所属):橋川愛美 技師(東京女子医科大学病院)

参加人数:会員254、非会員0、学生0、計254名

カ)血液検査研究班

①開催時期:2021年8月31日(火)

開催場所:Zoom形式によるWeb研修会(研究班主催)

実施内容:血液検査の基礎～血算・血液像・凝固検査～

講師名(所属):松熊美千代 技師(社会福祉法人三井記念病院)

参加人数:会員237、非会員0、学生1、計238名

キ)輸血検査研究班

①開催時期:2021年9月22日(水)

開催場所:Zoom形式によるWeb研修会(支部主催)

実施内容:血液製剤の取り扱いと適正使用について

講師名(所属):森威典 技師(武蔵野赤十字病院)

参加人数:会員98、非会員0、学生0、計98名

ク)免疫血清検査研究班

①開催時期:2021年9月24日(金)

開催場所:Zoom形式によるWeb研修会(研究班主催)

実施内容:免疫血清検査の基礎知識

講師名(所属):桜庭尚哉 技師(JCHO東京山手メディカルセンター)

参加人数:会員94、非会員0、学生1、計95名

3)支部プラスワン研修会

支部幹事主体で企画・運営される研修会で、主に他の学術研修会に参加困難な会員を対象として、最新のトピックスや興味のある話題について12月と2月開催で企画したが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため対面研修会開催を見送り、第16回東京都医学検査学会内の企画として開催した。

①開催時期:2022年2月1日(火)～2022年2月28日(月)

開催場所:Zoom形式によるWeb研修会(第16回東京都医学検査学会内)

実施内容:(1)採血室における安全管理

(2)安心・安全のための採血支援システムの構築

講師名(所属):(1)米山里香 技師(杏林大学附属病院)

(2) 米山 正芳 技師(杏林大学附属病院)

参加人数: (1) アクセス数 164、ユーザー数 124 名

(2) アクセス数 86、ユーザー数 70 名

4) 検体採取実技講習会

臨床検査技師の業務拡充と病棟業務実践のみならず、新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い検体採取への取組が重要となったことから、①身近な施設の実例から運用ノウハウを学ぶ、②実施に必要な知識および実技を復習する、③実技のスキルアップ方法を学ぶ、の3点を目的に、シミュレータを使用しての実技講習会を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、対面講習会開催を見送った。

5) 臨床検査データ標準化

臨床検査の測定値は医療施設の設備環境や条件および使用する検査試薬が統一されていないことにより、同一検査項目でも測定値に差異が生じている。その差異を是正し、「どこの医療施設でも同じ“物差し”で検査データが判断できるようにする」という目的を達成するために、これまでに多くの機関、団体が標準化に向けた活動を実践してきた経緯がある。しかし、臨床検査データ標準化もだいたい進んだことから、令和4年度からは精度管理調査を中心に進めていく予定である。令和3年度の精度管理調査は医療機関 200(前年 199)施設、メーカー25(前年 26)施設、合計 225(前年 225)施設の参加で実施し、令和2年度と比較して同様であった。新型コロナウイルス感染拡大の影響で例年実施していた報告会の開催も参加者を集めることは困難と判断されるため Web 上での対応を行った。この精度保証施設認証制度は正確なデータを提供することで国民の健康増進・疾病予防の支援および信頼性保証を目的とするものであり、自施設の臨床検査値が標準化され且つ精度が保証されていることをアピールするために各施設の積極的な取得に向けた取り組みを期待している。

6) 医学検査学会

第16回東京都医学検査学会は学会長杉岡陽介(プロアイ)のもと「Assemble ～医療と未来への橋渡し～」をテーマに2022年2月1日より28日までWEBによる学会を開催した。

学会メインテーマ特別講演は、臨床検査結果の使い方について放射線技師、理学療法士、栄養士の方々から講演をいただきました。

講師の先生は

放射線技師から見た臨床検査

塚田亮太先生(東京慈恵会医科大学附属第三病院 放射線部)

理学療法士から見た臨床検査

栗田 泰成先生(常葉大学 健康科学部 静岡理学療法学科)

栄養学から見た臨床検査

久保 明先生(一般社団法人日本臨床栄養協会)

看護師から見た臨床検査

宮崎 留美子先生(東京医科大学病院 看護部)

タスクシフトで身近になった内視鏡業務について

～内視鏡業務の現状と将来、新型コロナ対策含めて～

今村 倫敦先生(東京品川病院内視鏡部)

の5演題、と新型コロナ対応～都内病院へのアンケート結果～として大会長の杉岡がまとめを行った。

日臨技企画として参議院議員 宮島喜文日臨技代表理事会長による2022年時代の潮流からみた“臨床検査技師の将来”を考える、横地 常広日臨技代表理事副会長によるタスクシフトの取組みと今後の方向性の2講演、一般演題は40演題、研究班企画20企画、資格更新単位が付与される認知症講座5講演、リラックス講座7講演、プラスワン講習会2演題、学生対象講演会4演題協賛企業からは機器・試薬セミナー9講演と盛りだくさんの内容でアクセス数は約48000、各演題へのいいね！やコメントも多くよせられ、Web学会の利点である好きな時に好きなだけ聴講でき、会場開催では時間が重なって聴講できない講演も聞くことができる等、大盛況のうちに終了しました。

(2) 臨床検査の情報提供事業

臨床検査に関する最新的话题を都民及び会員双方に提供する研修会を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を最優先するためWeb開催とした。また、検査技師養成校との教育施設連絡者会議では、都臨技と養成校の連携をさらに強化し、国家試験模範解答作成や新カリキュラムやタスクシフティングの情報提供を行った。

1) 学生への情報提供

検査技師養成校の学生を対象に臨床検査技師会の紹介、臨地実習の心構え、就職後のステップアップにつながる資格について研修会を東京都医学検査学会内の Web コンテンツ形式で実施した。都臨技事業の理解と、会員への入会案内として学生対象説明会は、コロナ禍の状況のためか、今年度依頼がなかったため実施しなかった。

ア) 2021 年度学生対象講演会

東京都医学検査学会で「臨地実習～安心して実習に臨むために～」と題して4名の講師の方にご講演頂いた。

イ) 学生対象説明会

今年度は、各校から依頼が無かったため、実施しなかった。各校には、都臨技の紹介、入会方法などを記載したパンフレットを郵送し、理解を求めた。

2) 教育施設連絡者会議

2022年度より、新カリキュラムが施行されることや、医師の働き方改革などにより臨床検査技師の業務拡大が直近の課題となっている。この大きな変化に対応するため、教育施設の先生方と連携していく必要がある。そこで、新カリキュラムの問題点やタスクシフト業務に関する情報提供を行った。

国家試験問題模範解答作成のため、各校の模範解答について情報共有を行った。

(3) 人々の健康増進、医療・公衆衛生の向上の為の地域保健共催事業

都民を対象に健康増進や医療に関する知識および公衆衛生の向上を目的とした事業であり、臨床検査の正しい知識を提供し安心・安全な臨床検査の理解を深めていただくものである。2021年度も多くの公共団体主催事業および他団体主催事業に積極的に参加協力予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、すべての事業が中止となった。また、学生を対象とした臨床検査技師の業務や臨地実習に向けての心構えなどの講演会も対面講習会は見送った。予防啓発事業としてSTI 予防活動を実施し、東京都民の医療・公衆衛生の向上に寄与した。

1) 公共事業への参加

2021 年度も例年と同様、都内各地で実施される公共団体主催の「健康まつり」に参加し、血管年齢測定、骨密度測定、血糖測定のほか、認知症関連検査や臨床検査技師の業務紹介等を実施して、都民への医療・公衆衛生の向上に寄与する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、すべての事業が中止となった。

ア) 稲城ふれあい健康・医療まつり

新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止。

イ) 江戸川区民まつり

新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止。

ウ) 江東区民まつり

新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止。

エ) 小平市民まつり

新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止。

オ) 大新宿区まつり

新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止。

カ) 大田・品川健康まつり

新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止。

キ) いたばし健康まつり

新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止。

2) STI (Sexually Transmitted Infection <性病感染・病態>) 予防活動

STI 予防委員会を中心に、中学校・高等学校・検査技師養成校・大学を通じて STI の予防啓発を行った。新型コロナウイルス感染症感染拡大による影響が大きかったが、感染予防対策をとり、オンデマンドでの講演会や出張講演会を実施することができた。また、受講する学生に対してさらに理解が深まるよう、予防啓発公演時に配布する STI の関するリーフレットの改訂を行った。

ア) 日大豊山女子高等学校

開催時期: 令和 3 年 7 月 13 日 (火)

開催場所: 日大豊山女子高等学校

主 催: 東京都臨床検査技師会

実施内容: STI 予防啓発活動

参加人数: 会員 0、非会員 0、学生 256、その他 0、計 256 名

イ) 東京工科大学

開催時期: 令和 3 年 7 月 28 日 (水)

開催場所: 東京工科大学

主 催: 東京都臨床検査技師会

実施内容: STI 予防啓発活動 (オンデマンドによる動画スライドの視聴)

参加人数: 会員 0、非会員 0、学生 406、その他 0、計 406 名

ウ) 東京電子専門学校

開催時期: 令和 3 年 9 月 28 日 (火)

開催場所: 東京電子専門学校

主 催: 東京都臨床検査技師会

実施内容: STI 予防啓発活動

参加人数: 会員 0、非会員 0、学生 57、その他 0、計 57 名

エ) 新渡戸文化短期大学

開催時期: 令和 3 年 11 月 12 日 (金)

開催場所: 新渡戸文化短期大学

主 催: 東京都臨床検査技師会

実施内容: STI 予防啓発活動

参加人数: 会員 0、非会員 0、学生 75、その他 0、計 75 名

オ) 葛飾区立青戸中学校

開催時期: 令和 4 年 3 月 9 日 (水)

開催場所: 葛飾区立青戸中学校

主 催: 東京都臨床検査技師会

実施内容: STI 予防啓発活動

参加人数: 会員 0、非会員 0、学生 117、その他 0、計 117 名

カ) 世界エイズデー街頭活動

12 月 1 日の世界エイズデーに向けた東京都福祉保健主催の啓発イベント開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止となった。

キ) 池袋エイズフェス 2021

新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止となった。

ク) 東京都福祉保健局での紹介

東京都福祉保健局に性感染症の訪問授業について学校から問い合わせがあった際に、STI 予防教室を紹介していただけることになった。

3) 公開講座の開催

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から Web での開催とし「コロナウイルス重症化リスクとしての肥満症」・「生活習慣病の予防・診断のための検査」の 2 つのコンテンツを Web 上に公開した。

4) 東京都および各種財団などの公益的活動への参加

東京都医療従事者ネットワーク参加団体と協力し、相互の参加と企画による活動で都民への医療・公衆衛生の向上に寄与する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で、全国検査と健康展は不参加となった。東京都看護協会主催の看護フェスタ2021は、開催日の順延、開催形式はWebを利用した方法へ変更し実施した。3つのコンテンツを提供し、目的を達成することができた。

ア)看護フェスタ2021

開催時期:令和3年12月1日(水)~12月31日(金)

開催場所:東京都看護協会のホームページを利用したWeb開催

事業主体:(公社)東京都看護協会

主 催:東京都臨床検査技師会

実施内容:RT-PCRの測定原理の紹介

PCR検査の実際

臨床検査技師の仕事とは

3つのコンテンツを動画にてHPへ掲載した。

看護フェスタ総閲覧件数実績:4,568件(東京都看護協会発表)

イ)全国検査と健康展

新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により不参加。

(4)臨床検査の普及啓発事業

1)支部運営

健康まつりや初級研修会、支部主催の研修会を企画・運営するため、支部ごとに4~7回の幹事会を開催した。また、各支部間の情報共有および、施設連絡者会議、都臨技オリエンテーション開催のため、支部業務連絡委員会を5回開催した。

2)都臨技フォーラム委員会

都民公開講座の開催に向け、講演内容や広報の方法などについてWeb会議にて5回の委員会を開催した。

3)ホームページ運営事業

①ホームページの充実とリアルタイムな情報提供

広報活動の重要な柱の1つであるホームページ運営事業は平成24年度より事務局が掌っており、会員・非会員・都民に対し情報提供を行っている。令和3年度の更新回数は約393回を数え「掲載指示/要望書」を活用し掲載指示が正確に反映できるよう努めた。レスポンスタイム短縮への取り組みに重点を置きながら、これまでの運営事業を継続し都臨技の研修会や行事予定、各支部・各部局からの情報及び活動報告、理事会議事録、都臨技会誌(東京都医学検査)の目次、日臨技からの情報や他団体が開催する研修会等で会員に有益である情報を掲載した。その他、都臨技データ標準化精度管理調査の案内、東京都内に勤務地がある施設の求人情報を掲載した。学会広報活動としては、都臨技として初となるWeb配信による第16回東京都医学検査学会ホームページの案内や情報発信を行った。賛助会員ページ(賛助会員一覧)の充実を図るとともに、会員専用ページも開設しオンデマンド配信を開始した。ホームページには会員や非会員、関連団体、関連企業からの問い合わせ窓口としての機能もあるため、ホームページ上の「ご意見・ご要望」を通じて寄せられた問い合わせについて回答するなどの対応を行った。

②LINEを活用した会員への情報提供

今年度よりLINEを使用し、都臨技ホームページの更新情報や研修会及び行事の最新情報の提供を開始した。「メールインフォメーション」についても運営事業を継続し、都臨技ホームページの更新情報や研修会及び行事の最新情報を週1回程度メールにて配信する事業を行ったが、3月31日をもって配信を停止した。

(5)機関誌の発行业務

令和3年度は、機関誌の発行业務として「東京都医学検査」を3回発行した。機関誌は、会員・賛助会員のほか、日臨技、各都道府県技師会、全国技師養成学校、各関連官庁に配布した。また、毎号メディカルオンラインへの掲載を行った。

掲載内容としては、学術部研究班で企画した臨床検査分野の特集、各研修会・講演会の要旨を掲

載した。また、医療情報シリーズではコロナ禍における医療事情についてとして献血、臨床検査センターでの取り組みについて掲載した。さらに会員からの学術論文や研究資料などが多数掲載されるように学術研究班との連携に努めた。各研修会の参加人数、生涯教育に関する事項については記録として残した。

令和3年度発刊

「東京都医学検査」

Vol.49 No.2(通巻268号)令和3年6月 7000部

Vol.49 No.3(通巻269号)令和3年10月 7000部

Vol.50 No.1(通巻270号)令和4年3月 7000部

2. 相互扶助事業(その他本会の目的を達成するために必要な事業)

本会の円滑な事業執行に必要な各事業として、新人技師、非会員技師を対象に技師会活動の説明と周知を図るとともに会員獲得のための都臨技オリエンテーションの開催、また、各施設間に於ける情報交換や本会との連携強化を図るため、合同施設連絡責任者会議を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、対面開催を見送った。

(1) 会員に対する相互扶助(慶弔規程に基づく活動)

本会は会員に対し、慶弔規程に従い慶弔の意を表し会費より運用しているが、今年度においては慶弔規程に基づく活動で特記すべきものはなかった。

(2) 会員に対する本会活動の周知、意見交換および親睦のための事業

会員獲得と都臨技活動を周知するため、また会員との意見交換をおこなう親睦などを目的とした以下のとおりの事業を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、対面開催を見送った。

1) 都臨技オリエンテーション

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から中止とした。

2) 合同施設連絡責任者会議

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から中止とした。

(3) 会員に対する表彰とその受賞の周知事業

1) 表彰選考委員会は会員より臨床検査の発展に寄与し、各種表彰、受賞に相応しい被表彰者を選考して推薦している。また令和3年度各団体が募集している受賞該当者の推薦を行い、以下の受賞を得た。

- ・名誉会員(表彰対象者に表彰盾、記念品を贈呈)
- ・功労者(表彰対象者に表彰盾、記念品を贈呈)
- ・第41回 福見秀雄賞

2) 令和3年度新春のつどい・各賞受賞祝賀会

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から中止とした。

3. 事業実施の財源

正会員・賛助会員・学生会員からの年会費を主たる財源とし、実技研修会等(特別講習会)の受講料、機関誌(会誌)広告収入等の事業収入および日臨技からの補助金等を財源として加えた。

4. 業務委託

機関誌の発行にともない、発送業務を委託した。

以上